

氏名	西原 賢	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	電気運動生理学、物理療法学				
学位	博士（医学）				
学歴	1986年早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程、1995年社会医学技術学院理学療法学科、2001年北里大学大学院医療系研究科博士後期課程				
経歴	2001年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師准教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、専門リハビリテーション研究会（理事、渉外部長）、理学療法科学学会、International Society of Electrophysiology and Kinesiology、日本電気生理運動学会、日本視覚学会、日本看護学教育学会、日本運動療法学会、日本超音波骨軟組織学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費補助金: 基盤研究(C) (西原賢)	骨格筋の超音波画像と神経伝導速度解析によるサルコペニア発症要因の解明		研究代表者	2019.4~2022.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	物理療法学（旧カリ）	○	8	物理療法の各療法による物理的刺激手段が、生体に及ぼす影響について講義した。		
2	物理療法学（新カリ）	○	8	物理療法の各療法による物理的刺激手段が、生体に及ぼす影響について講義した。		
3	記録データ解析学演習	○	8	運動や感覚などを記録したデータを基にして適切な解析方法を立案させ、図や表にまとめられるように支援した。		
4	理学療法学研究法	○	4	理学療法の専門領域で学んだ知識を基盤として、理学療法学研究の必要性を講義するとともに、科学的思考が深められるように努めた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	基礎運動療法学演習		2	運動療法を計画し実施するために必要な基礎理論と原理の一部として筋力・筋持久力の維持と増強について実技を交えた講義を実施した。		
2	IPW演習		16	模擬患者に対して学生5チームの患者ケアの立案のファシリテーション等を行った。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	物理療法学実習	○	19	物理療法学で学んだ各療法の理論を基に、実習を通じた基本的手技や実施方法の習得を目指した。		
2	基礎運動療法学実習		23	物理療法学で学んだ各療法の理論を基に、実習を通じた基本的手技や実施方法の習得を目指した。		
3	身体機能作業療法学実習		2	作業療法における物理療法の刺激手段が、生体に及ぼす影響について講義した。		

4	日常生活指導実習（後）		2	日常生活活動について各疾患別のまとめのグループ発表に参加してアドバイスをした。	
5	IPW実習		23	学生を実習施設に引率してIPW実習ファシリテーションや施設側との連絡調整等を担当した。	
対象		期間		主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文			主指導 名	副指導 名
2	修士論文			主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文			主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他					
名称		期間		概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
講演会、研修会、公開講座等の名称		主催		講演、研修、公開講座等のテーマ	
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期	
1	東京都健康長寿医療センター主催（地域在住高齢者の老年症候群の予防を目指す健康維持改善事業）	お達者健診		2020.4～2021.3	
2	東京都健康長寿医療センターの協力による事業	骨格筋の超音波画像と神経伝導速度解析によるサルコペニア発生要因の解明		2020.4～2021.5	
3	経済産業省	R2fy高齢者事業		2020.10～2021.2	
(3) ジャーナリズムでの発言					
メディア等の名称		内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
項目		相手方等		内容	
1	該当なし				
5. 学内運営					
項目		内容			期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会			2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
受賞名		主催		受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
特許名		特許番号		登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					